

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

⑨日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭54—42833

⑬Int. Cl.²
E 06 B 7/22

識別記号 ⑭日本分類
89(2) A 41

庁内整理番号 ⑮公開
7635—2E

昭和54年(1979)4月5日

発明の数 1
審査請求 有

(全 4 頁)

⑯屋外設置用ボックスの防雨装置

門真市大字門真1048番地 松下
電工株式会社内

⑰特 願 昭52—110118

⑱発 明 者 空章夫

⑲出 願 昭52(1977)9月12日

刈谷市一里山町東吹戸11番地

⑳発 明 者 泉村健一

片山工業株式会社内

門真市大字門真1048番地 松下

㉑出 願 人 松下電工株式会社

電工株式会社内

門真市大字門真1048番地

同 水野武和

㉒代 理 人 弁理士 石田長七

明 細 書

1. 発明の名称

屋外設置用ボックスの防雨装置

2. 特許請求の範囲

(1) 可撓性を有するパッキンをボックスの開口部全周囲乃至扉の全周囲の少くとも一方に取付け、パッキンの全外周に水切り溝を凹設し、パッキンを介して扉にてボックスの開口部を気密的に密閉して成ることを特徴とする屋外設置用ボックスの防雨装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、可撓性を有するパッキン(1)をボックス(2)の開口部全周囲乃至扉(3)の全周囲に少くとも一方に取付け、パッキン(1)の全外周に水切り溝(8)を凹設し、パッキン(1)を介して扉(3)にてボックス(2)の開口部を気密的に密閉して成ることを特徴とする屋外設置用ボックスの防雨装置に係るもので、その目的とするところは水切り部のコストダウンを計った屋外設置用ボックスの防雨装

置を提供するにある。

従来の屋外設置用ボックスの防雨装置にあつては第1図に示すようにボックス(2)の開口部全周囲より断面L字状の水切り部(10)を前方に突出し、扉(3)の内面にパッキン(1)を貼着し、扉(3)を閉じたときパッキン(1)が水切り部(10)全周に当たるようにしていた。しかし、かかる従来例にあつてはパッキンを扉に貼着しているので塗装をやり直すような場合にパッキンの取外しが面倒であり、取外した後再使用ができず、また水切り部の4角を溶接しなければならず水切り部の折曲げ加工、仕上げを含めて手間とコストがかかるという欠点があつた。

本発明は叙述の点に鑑みてなされたもので、つて以下本発明を実施例により詳述する。第1図に示すようにボックス(2)の開口部周囲より前方に折曲げ部(4)を突出し、第2図に断面を示すようにボックス(2)の開口部全周囲に可撓性を有するパッキン(1)を着脱自在に取付け、パッキン(1)の全外周に水切り溝(8)を凹設し、パッキン(1)を介して扉(3)に

てボックス(2)の開口部を気密的に密閉する。

また別な実施例として第3図に示すようにパッキン(1)の固定部(1b)でパッキン(1)と板パネ(5)とを一体とし、ボックス(2)の開口部周囲を板パネ(5)で弾性的に挟んで固定し全外周に水切り溝(8)を有するパッキン(1)の固定強度を増してもよい。また別の実施例として第4図に示すようにボックス(2)の開口部周囲の端部を一定間隔を置いて前方、後方に交互に略90度折り曲げたボックス(2)の開口部全周囲に全外周に水切り溝(8)を有するパッキン(1)を取付け、または別金具を溶接してボックス(2)の開口部周囲に前方及び後方に向かって突起を突出したボックス(2)の開口部全周囲に全外周に水切り溝(8)を有するパッキン(1)を取付け、パッキン(1)の固定強度を増してもよい。また別な実施例として第5図に示すようにボックス(2)の開口部周囲をパッキン(1)で覆い、パッキン(1)をネジ、リベット等の固定具(6)でボックス(2)に固定し、パッキン(1)の全外周に水切り溝(8)を凹設してもよい。また別な実施例として第6図に示すようにボックス(2)の開

口部周辺に切り起し(7)を設け、又はボックス(2)の開口部周辺に突起を設け、全外周に水切り溝(8)を有するパッキン(1)の固定強度を増してもよい。また別の実施例としてボックス(2)の開口部周辺に孔をあけ、パッキン(1)には突起を設け、孔にパッキン(1)の突起がひつかるようにして、全外周に水切り溝(8)を有するパッキンの固定強度を増してもよい。また別な実施例として第7図に示すようにパッキン(1)の固定部(1b)のボックス(2)の外周と接する部分にボックス(2)の開口部に沿って水切り溝(8)を設け、毛細管現象により雨水がボックス(2)の開口部周囲よりボックス(2)内に浸透するのを防止してもよい。また別の実施例として第8図に示すようにボックス(2)の開口部全周囲にパッキン(1)を取付け、パッキン(1)の全外周に複数本の水切り溝(8)を凹設してもよい。また別な実施例として第9図に示すように扉(3)の端部に折返し(9)を設け、扉(3)の全周囲に亘って折返し(9)の端部に可撓性を有するパッキン(1)を着脱自在に取付け、パッキン(1)の全外周に水切れ溝(8)を凹設し、パッキンを介して

扉(3)にてボックス(2)の開口部に気密的に密閉してもよい。また別の実施例として第10図に示すように前面全体が開いたボックス(2)にあつてはボックス(2)の側壁及び上下の壁の端部にパッキン(1)を取付け、パッキン(1)の全外周に水切り溝(8)を凹設してもよい。また別の実施例として第11図に示すようにボックス(2)にパッキン(1)を固定し、扉を閉じたときにパッキン(1)と扉(3)の接するパッキン(1)の部分の中央に長手方向に亘ってパッキン(1)に水切り溝(8)を設け、扉(3)を閉じたとき扉(3)とパッキン(1)の間に空洞を生じさせ、毛細管現象により雨水が扉(3)とパッキン(1)の間より浸透するのを防止してもよい。また以上の実施例を組合わせて用いてもよい。

本発明屋外設置用ボックスの防雨装置は叙述の如く、可撓性を有するパッキンをボックスの開口部全周囲乃至扉の全周囲の少なくとも一方に取付け、パッキンを介して扉にてボックスの開口部を気密的に密閉するので、ボックスの開口部の全周にわたって気密防水構造とすることができるとのみな

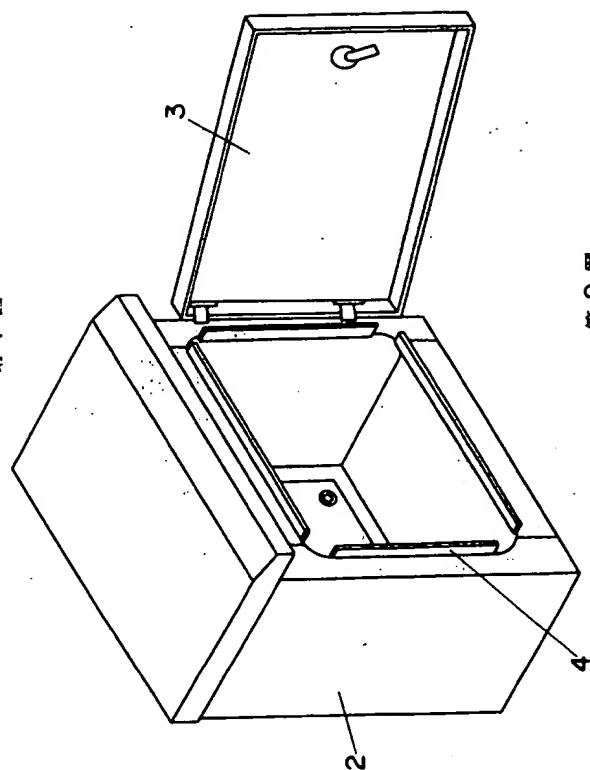
らず、パッキンの全外周に水切り溝を設けてあるので、ボックスの外で水切りが確実にでき、ボックスに水切り構造を持たせた場合のように水切り部の折り曲げ加工、溶接、仕上の必要がなく、構造が簡単でコストダウンを計ることができるものである。

図面の簡単な説明

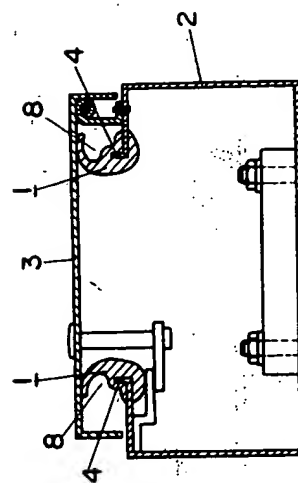
第1図は本発明屋外設置用ボックスの防雨装置の一実施例を示す斜視図、第2図は同上の下方より見た断面図、第3図より第13図まではそれぞれ別な実施例を示す断面図、第14図は従来例を示す斜視図、第15図は同上の下方より見た断面図であつて、(1)はパッキン、(2)はボックス、(3)は扉、(8)は水切り溝である。

代理人 弁理士 石 田 長 七

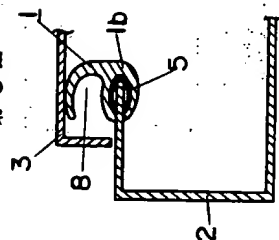
第1図



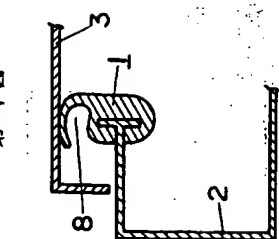
第2図



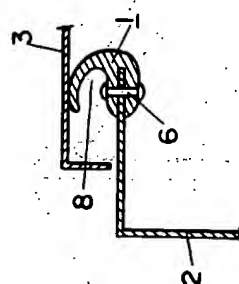
第3図



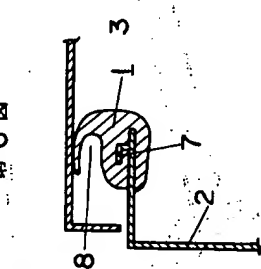
第4図



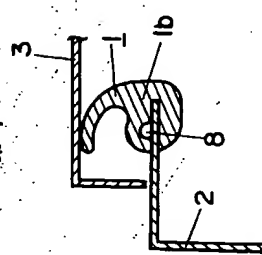
第5図



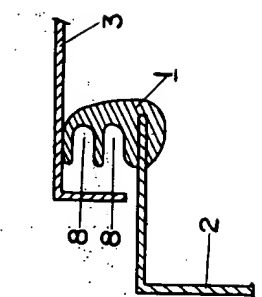
第6図

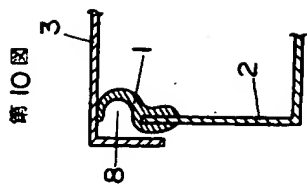


第7図

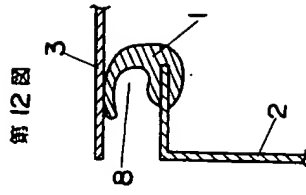


第8図

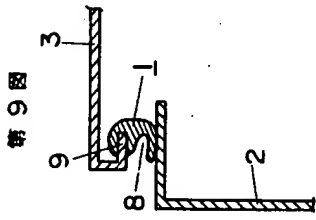




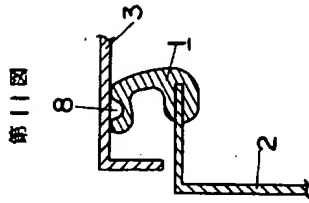
第10圖



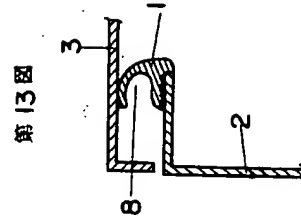
第12圖



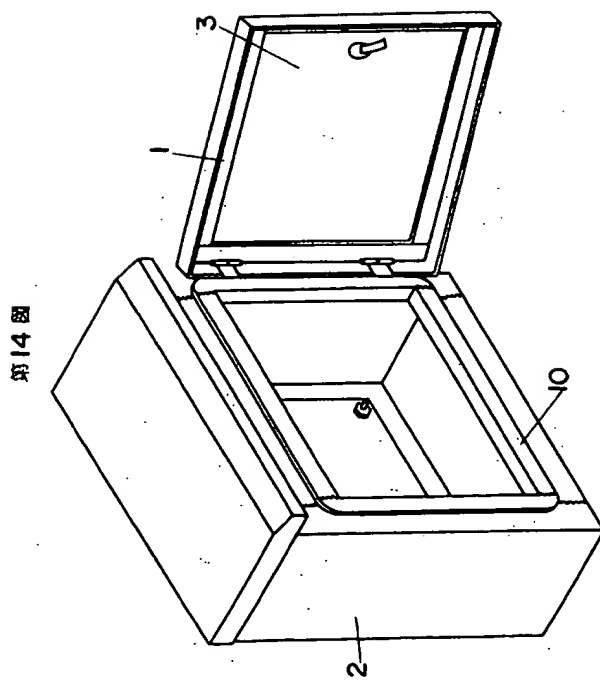
第9圖



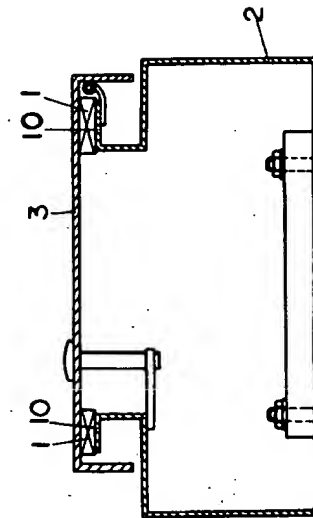
第11圖



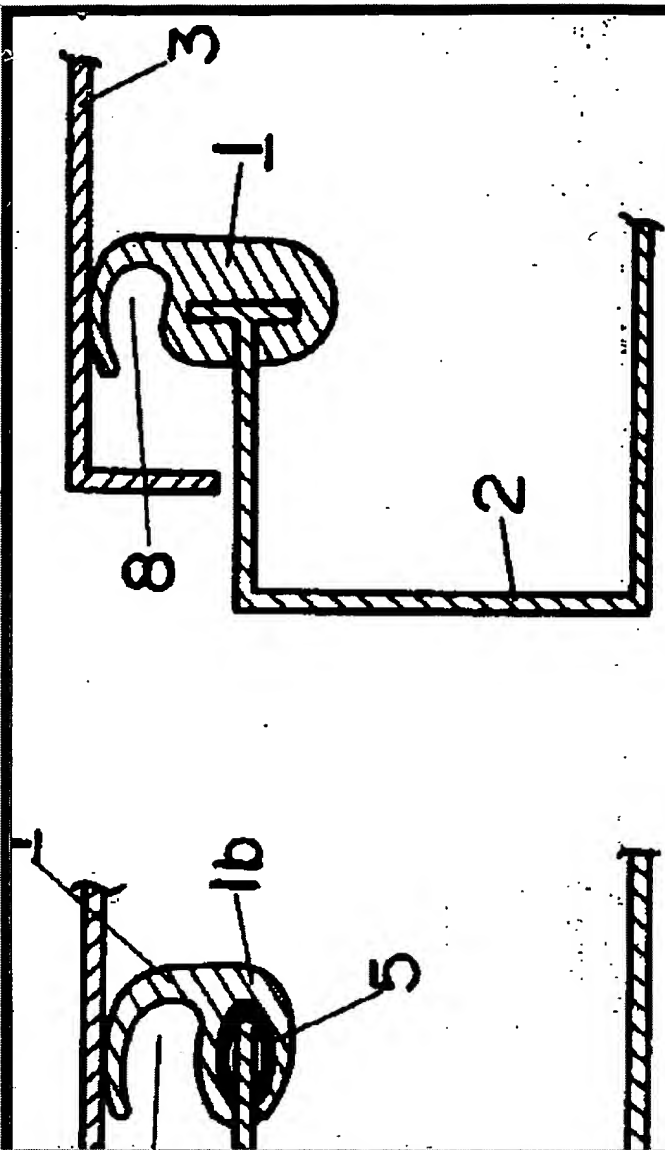
第13圖



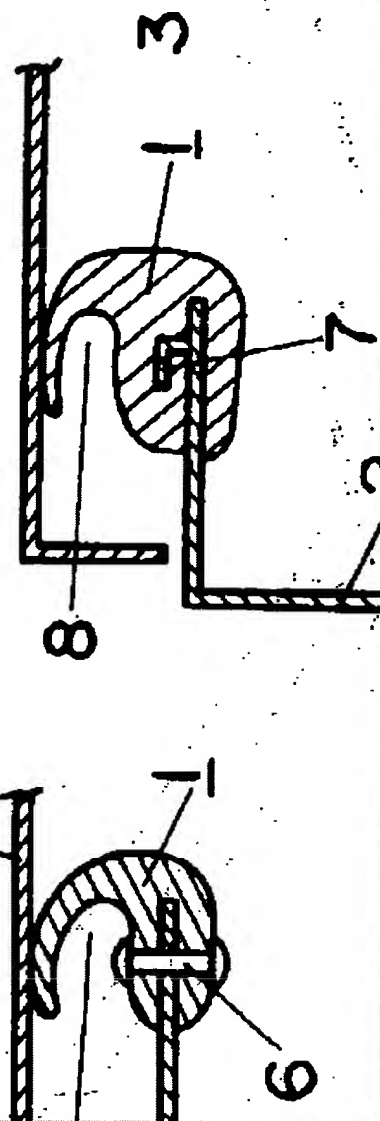
第14圖



第15圖



第 5 図



第 6 図